

平成25年度 決算のお知らせ

みなさんの健康への意識が 健全な財政運営につながります



健康保険



●平成25年度 決算のあらまし

科 目		決算額(千円)
収 入	保険料(含調整保険料)	1,959,833
	国庫負担金収入	658
	繰 入 金	45,000
	国庫補助金収入	0
	財政調整事業交付金	20,464
	雑 収 入	28,873
合 計		2,054,828
支 出	事 務 費	14,953
	保 険 給 付 費	970,642
	{ 法定給付費	945,817
	{ 付加給付費	24,825
	納 付 金	891,583
	{ 前期高齢者納付金	328,405
	{ 後期高齢者支援金	449,215
	{ 病床転換支援金	0
	{ 退職者給付拠出金	113,951
	{ 老人保健拠出金	12
保 健 事 業 費	54,105	
財 政 調 整 事 業 拠 出 金	32,338	
連 合 会 費	1,145	
雑 支 出	1,254	
合 計		1,966,020
収入支出差引額		88,808

介護保険



●平成25年度 決算のあらまし

科 目		決算額(千円)
収 入	介 護 保 険 収 入	170,608
	繰 越 金	13,219
	繰 入 金	4,068
合 計		187,895
支 出	介 護 納 付 金	186,641
	合 計	186,641

平成25年度の決算は一般勘定で収入総額20億55百万円、支出総額19億66百万円で、収支差引額は89百万円となり、経常収支差引額においても23百万円の黒字決算で終わることができました。

みなさんのご協力により黒字決算を維持することはできましたが、高齢者医療を支えるための納付金負担が、昨年度に比べ約1億60百万円増加し、保険料収入の45%を超えるなど、健保財政を圧迫しています。

こうしたなか、当健保では健全な財政運営をはかるために、より効率的・効果的な事業運営の推進に努めてまいります。みなさんにおかれましては、日々の健康管理や健康増進を心がけいただき、医療費の節減にご協力をお願い申し上げます。

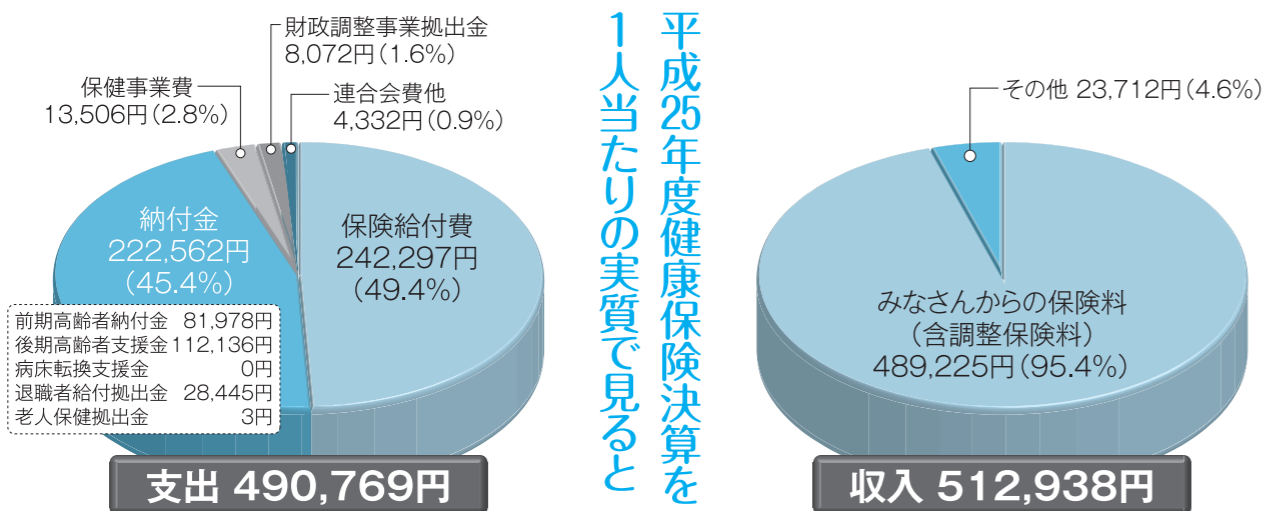
健康保険組合現況(年間平均)

- 被保険者数……………4,006人
男……………3,628人
女……………378人
- 平均標準報酬月額……………403,877円
男……………419,904円
女……………242,384円
- 総標準賞与額(年間合計)……………5,572,152千円
- 平均年齢……………41.86歳
男……………42.01歳
女……………40.39歳
- 前期高齢者加入率……………1.35%
- 保険料率(含調整保険料率)……………7.90%
事業主……………4.63%
被保険者……………3.27%

決算の基礎となった数値(年間平均)

- 介護保険第2号被保険者数……………3,384人
- 介護保険第2号被保険者たる被保険者数……………2,263人
- 平均標準報酬月額……………471,986円
- 総標準賞与額(年間合計)……………3,852,395千円
- 介護保険料率……………1.0%
事業主……………0.5%
被保険者……………0.5%

平成25年度健康保険決算を 1人当たりの実質で見ると



平成25年度に実施した 保健事業(健康づくり)

★病気の予防★

- 特定健診(年間 40~74歳の被扶養者)
- 保健指導(年間)
被保険者の健診受診者に「情報提供」、40~74歳の被保険者・被扶養者が必要な方に保健指導を実施(「動機付け支援」「積極的支援」)
- 法定外健診(定期健診時に実施・被保険者)
 - ◆心電図検査/25歳、30~34歳、36~39歳
 - ◆血液検査/25歳、30~34歳、36~39歳
 - ◆眼底検査/40歳以上
 - ◆C型肝炎検査/30歳
 - ◆前立腺がん検査/50・55・60歳(男性)
- 胃検診
(定期健診時に実施 30歳以上被保険者の希望者)
- 大腸がん検診
(定期健診時に実施 35歳以上被保険者の希望者)
- 乳がん・子宮がん検診
(全豊田地域巡回健診時に実施 女性被保険者の希望者)
- 全豊田地域巡回健診
(春、秋 30歳以上の女性被扶養者と任意継続者の男性)
- 人間ドック
(年間 30歳以上任意継続者と被扶養者の希望者)
- 脳ドック
(年間 50歳以上被保険者と被扶養者の希望者)
- 特別保健指導
生活習慣病発症および発症予備群の被保険者対象に開催
- 保健指導後の事後フォロー(年間)
保健指導後の方へ、その後のフォロー研修を実施

- 35歳ターニングポイント生活改善と予防講習会(年3回 35歳の被保険者)
- インフルエンザ予防接種補助(秋 65歳以上の高齢者および小学生までの子供)
- 家庭常備薬の斡旋補助(春・秋)

★保健指導のPR★

- 機関誌「けんぼだより」配付(年4回)
- 医療給付通知書発行(毎月)
- ジェネリック利用促進のご案内(年4回)
- ホームページの運営(随時)
- 前期高齢者家庭訪問指導(随時)
- 前期高齢者冊子配付および健康表彰(随時)
- 法改正等案内の各種パンフレット配付(随時)

★体力づくり★

- 健康づくり行事補助(年間)
- アイチ健歩活動
(事業参加者のうち目標達成者に記念品を配付)

★心身の保養★

- オテル・ド・マロニ施設契約(年間)
- リゾートトラスト施設利用契約(年間)
- ヒュッテ奥原利用補助(年間)
- まつみや・はや河・その他施設の利用補助(年間)



健康保険「扶養調査」にご協力ください

当健保組合に加入している被保険者（ご本人）のみなさんの被扶養者（扶養家族）について毎年調査を実施しています。この調査は、保険給付等、組合事業適正化のために必要な事務ですので、お手数をおかけしますがご協力をお願いいたします。

【扶養調査対象】 父母・子供（19歳以上）・配偶者（税法上の控除対象配偶者は除く）
【日程】 調査票を7月上旬に発送しておりますので、8月8日までに回答ください。

被扶養者の条件とは？

- ①被保険者と被扶養者との間に生計維持関係があること
- ②年収が130万円未満（60歳以上または障害認定を受けている場合は180万円未満）であること
- ③被保険者と同居していること
- ④別居の場合は被保険者からの援助（銀行等への振込み実態）があること 等

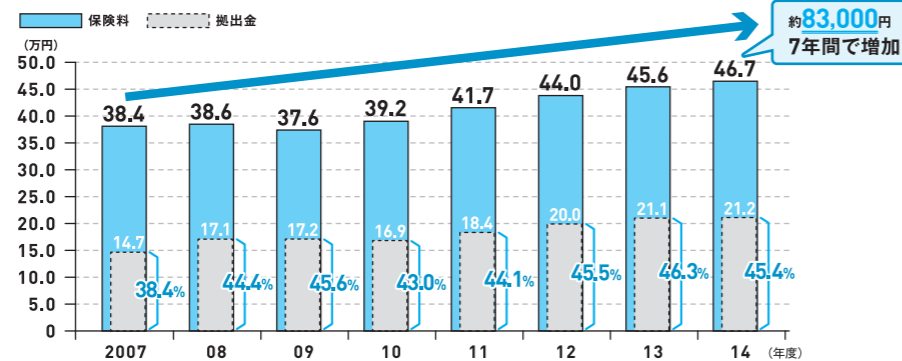


もしも、上記の条件を満たさない場合で、健康保険証を不正に利用したときは、過去にさかのぼって健保負担分の医療費を被保険者に請求することがありますので、いつも状況把握に努めてください。

保険料の約5割は拠出金 高齢者医療への負担はもう限界です

- 健保組合は2008年度以降、7年連続の赤字財政となっています。これは、高齢者医療制度が創設され、65歳以上の高齢者の医療費を負担する現役世代の拠出金の仕組みが改正されたためです。
- 健保組合の被保険者1人当たりで負担する高齢者医療への拠出金は、制度創設前の2007年度の14.7万円（年間）から2014年度は21.2万円に増え、**1人当たりの年間保険料も、この7年間で8.3万円、1年間に約1.2万円増加しています。**拠出金を支払うために多くの健保組合が保険料を引き上げていますが、保険料に占める拠出金の割合は確実に上昇し、2014年度は45.5%と約5割に達しています。
- 2015年度にはすべての団塊の世代が65歳以上の前期高齢者となり、高齢者の医療費は、さらに増加することが見込まれますが、**現役世代の保険料による拠出金負担はもう限界です。**

1人当たりの 年間保険料に占める 拠出金の割合（年度）推移



(注)2007～11年度までは決算、12年度は決算見込、13年度は予算、14年度は予算早期集計の数値です。

■日本の国民医療費は毎年1兆円を超える規模で増加し、現在の仕組みのままでは増え続ける医療費を支えることができなくなります。

将来にわたって国民皆保険制度を維持していくためには、国民医療費全体の約6割を占める高齢者医療費を国民全体でどのように負担していくかが最大の課題です。

■健保組合と健保連は、健保組合の財政悪化に歯止めをかけ、国民皆保険を守っていくためにも、高齢者医療制度に公費（税金）を投入・拡充することを国に強く求めています。

※本資料は、健保組合の事業主・加入者の方がたに健保組合の現状と、健保組合・健保連の主張を広くご理解いただくことを目的に作成し、全健保組合の統一広報活動として広報誌およびホームページに掲載しています。

健康保険のみらいをみんなでつくる/
あしたの健保プロジェクト

誰もが安心して医療を受けられる国民皆保険制度は、私たちの貴重な財産。この財産を守るため、医療保険制度を超高齢社会に耐え得る仕組みに改革すべきです。全国の健保組合と健保連は、一丸となって、「あしたの健保プロジェクト」を展開し、主張の実現をめざしています。

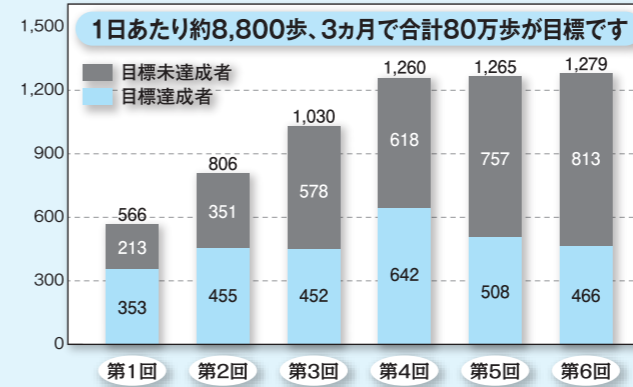
健康保険組合連合会

みんなで歩いて健康に!

アイチ健歩 結果報告

アイチ健歩の第6回が4月～6月に実施され、参加者は過去最高の1,279名にのぼりました。これまでの全6回の結果とあわせて報告いたします。

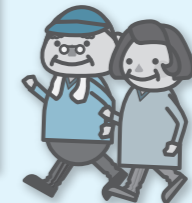
第6回推進強化期間/平成26年4月～6月



参加者は増えたものの第5回、第6回と、目標達成者が減ってしまいました。ウォーキングを毎日の習慣に取り入れ健康の維持・増進を図りましょう。

参加者随時募集中

詳しくは、健保組合へお問合せ、又は、ホームページをご覧ください！
みなさんふるってご参加を!



平成26年秋 けんぽれんあいち 健康ウォークを開催します!

日時 平成26年10月4日(土)

コース 中部国際空港島ウォークコース 常滑市・約7.5km

爽やかな秋空の下、航空機の発着や伊勢湾に行く船を間近に眺めつつ、ウォーキングをたのしみませんか！
みなさん、ふるってご参加ください!

スタート (受付)

セントレア ガーデン

飛行機の見える丘

空港島 東側海岸

通常立ち入りの
できないエリアを
歩きます!

ゴール

中部国際空港 旅客ターミナルビル1階

★詳細の発表、申込受付は8月下旬を予定しております



茂木保健師の ちょつとひとこと!

夏こそ身体を温めましょう!! ～身体を温めて免疫力を高める～

ビールにアイスにそうめん、冷やし中華! 冷たい食べ物がおいしい季節になってきました。夏は暑くて汗もかくし、「痩せる季節」がやってきたぞ～!と思われている方もたくさんいらっしゃると思いますが、実は、夏は基礎代謝が下がる季節。「痩せにくい季節」です! 夏こそ、食べ物や着衣などで、日常から身体を温めるような工夫が必要です。

近年は、冬より夏に冷える人が増えています。「夏の冷え」の蓄積は、秋や冬の体調にも影響します。免疫力が低下し、風邪やインフルエンザなどにかかりやすくなってしまいます。

日頃の生活習慣を見直して、冷え予防を心がけましょう。

対策

- 汗は乾いたタオルでこまめに拭き取る。
- クーラーの効いている部屋では、羽織りやひざ掛けを使用する。
- 体を動かしてよい汗をかく(室内でゴロゴロしない)
- あたたかい飲み物、身体を温める食べ物を選ぶ(冷たい物は控える)
- お風呂にゆっくり浸かる(シャワーで済まさない)



ご意見・ご要望は

052-603-9224(外線) 2128(内線) MAIL: a-moteki@he.aichi-steel.co.jp